

SB05Tokyo 宣言

「今こそ行動を、持続可能な世界に向かって」

2005 サステナブル建築世界会議東京大会（SB05Tokyo：2005年9月27-29日）に、80を超える国や地域から1,700人以上の人々が集まり、地球規模の協力、相互理解、技術や社会システムの革新などの重要な事項について議論を重ねた。その成果の迅速な普及をめざし、私たちはここにSB05Tokyo宣言を公表する。

私たちは、世界各地の建築関係の専門家として、以下の認識を共有する。

1. 現在の建築に関わる行為や人間の居住パターンが、資源利用、地球環境の悪化、気候変動に重大な影響をもたらしていることに鑑み、
2. 持続可能な社会を実現するための行動を、今すぐ着手し継続すること、が不可欠である。

上記をふまえ、会議の全体コンセプトである「和」が意味する「調和・共生・協働」の理念を、以下の活動を通じて具体的に展開することに取り組む。

1. それぞれの国で、同僚や関連組織に対し、
 - 1) 京都議定書の精神を広め、
 - 2) サステナブル建築の原則を実行するように働きかける不断の努力を傾注する。
2. 同時に、リーダーシップを発揮し、
 - 1) より緊密な国内および国際協力によって、地域間のギャップを克服する。
 - 2) 相互の継続的な教育や訓練によって、世代間のギャップを克服する。
 - 3) 参加や協働を通して、当事者間のギャップを克服する。

2005年9月29日、東京にて
SB05Tokyo 参加者一同